

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成22年度 第1回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成22年6月3日(木) 午後3時00分から 午後4時15分まで
開 催 場 所	吉川市役所204会議室
出席委員(者)氏名	中村 信委員、 矢野 義光委員、 戸張 英男委員、 大脇 利彦委員、 中田 眞矢子委員、 足立 有庸委員、 峯尾 武巳委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	いきいき推進課 課長 岡田 弘好 いきいき推進課高齢福祉係長 曾我 幸央 いきいき推進課介護認定係長 飯田 智子 いきいき推進課介護給付係長 森 保美 いきいき推進課介護給付係 豊田 敏昭
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	1. 地域包括支援センターの運営状況について 2. 第4期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の 進捗状況について 3. その他(夜間対応型訪問介護事業について)
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	2人
会 議 資 料 の 名 称	1. 地域包括支援センターの運営状況について 2. 吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況に ついて 3. 夜間対応型訪問介護事業について
会議録の作成方法	録音機器を使用した全文記録 録音機器を使用した要点記録 要点記録
会議録確認指定者	矢野 義光委員、 足立 有庸委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

<p>司会</p>	<p>開 会</p>
<p>会長 あいさつ</p>	
<p>議事 中村会長</p>	<p>・ 議事の前に矢野委員、足立委員を議事録証明委員に指名する。</p>
<p>1. 地域包括支援センターの運営状況について</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>峯尾委員</p>	<p>第1包括支援センターの収支報告書と予算書に繰入金200万円余とあるがこれはどういうものか。</p>
<p>事務局</p>	<p>第1包括支援センターについては、吉川市社会福祉協議会で運営しているが、第1包括支援センターの運営にかかる経費の一部は吉川市社会福祉協議会全体としての経費で処理されていることから、繰入金として計上をしている。</p>
<p>中村会長</p>	<p>(各包括支援センターによって)虐待、権利擁護の件数にバラツキがあるようだが、何か理由があるのか。また、実際に事例があった場合の対応はどうなっているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事例があった場合には各包括支援センターが(当事者の中に)入って問題解消を行っている。対応が困難な事例については、包括と市が連携をしていく。まずは状況の把握を行い、もし暴力などがあった場合には、第三者の目が入るようデイサービスなどを包括から提案し、当事者間をうまく分離できるよう誘導していく。 金銭の問題など、成年後見人が必要な場合には市が申し立てを行って成年後見人を設定し、第三者が金銭管理を行うよう進めている。 件数については、各包括によって虐待、権利擁護に該当するかどうかの判断に幅があるため、包括間の(件数の)差となっている。そのため、市で現在作成中のマニュアルを各包括で共有することにより考え方や基準を統一化することにより差を解消できると考えている。</p>
<p>矢野副会長</p>	<p>虐待・権利擁護の事例で、刑事事件になった事例や警察に協力を求めた事例はあるか。また、(包括・市)職員が訪問した際におどされるような事例はあったか。</p>
<p>中村会長</p>	<p>虐待などは隠れているものがあるので、どうみつけていくか手立てを考える必要があると思う。</p>

事務局	<p>市で把握している事例では刑事事件となったものはない。警察から虐待ではないかと照会を受けた事例はあるが、確認したところ単なる夫婦ゲンカと思われる事例であった。警察も明確な基準をもっているわけではないので、今後市としても詰めていく必要があると考えている。</p>
矢野副会長	<p>最近は家族間でも大事になることもあるから、市への報告と状況把握は重要だと思う。</p>
事務局	<p>市への報告については、民生委員に協力してもらい情報収集に努めている。市で得た情報については包括支援センターに逐次提供し、共有するようにしており、さらに強化していく。 また市で作成中のマニュアルに市・包括など各機関の役割分担を明確にしている。</p>
峯尾委員	<p>虐待・権利擁護の件数だが相談内容の件数と同じであると考えて良いか。</p>
事務局	<p>相談件数は同一の相談者が複数回相談した場合、複数カウントすることとなるので、相談件数が上回ると思われる。</p>
峯尾委員	<p>資料からだと虐待・権利擁護の件数が相談件数なのか（包括・市の）介入件数なのかわからない。実際は裾野が広くて、簡単な事例から困難な事例までであると思うが、このあたりが明確でないので集計の際には工夫をしてほしい。 また（虐待・権利擁護の）第一発見者は包括ではなく、ケアマネージャーであることが多いと思うが、市で作成しているマニュアルにケアマネージャーへの支援と協力体制がわかるよう記載してほしい。</p>
事務局	<p>虐待の実件数は相談件数よりも少ないので、実件数がわかるよう今後集計の際に工夫したい。</p>
峯尾委員	<p>できれば件数だけではなくて、第1・第2・第3包括の担当している地域性、たとえば家族構成なども含めて分析していくと良いのではないか。</p>
中村会長	<p>ほかにご意見はないか。</p>
峯尾委員	<p>一般高齢者の人数が989名と増えているが、地域支援事業（一般高齢者対象）の健康体操教室の利用人数91名と回数45回という数字は少ないように感じるのだが。</p>
事務局	<p>健康体操教室の利用人数と一般高齢者の人数に直接の関係があるとは考えていない。</p>
2. 吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に	<p>（事務局説明）</p>

<p>ついて</p>	
<p>大脇委員</p>	<p>家族介護支援事業の位置情報提供サービスだが、利用者数は変わらないのに、位置探索回数が大きく減っている。なにか理由があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>一人の利用者の家族がインターネットを使って一日複数回の探索を行っていたことがあったが、その利用者がサービスを受けなくなったため、位置探索回数が減少している。</p>
<p>中田委員</p>	<p>地域支援事業（一般高齢者対象）の健康体操教室だが、開催場所が中央公民館と体育館の二か所であるが、吉川駅南側では場所がない。機会があるごとに、市民の方から駅南側でも開催して欲しいとの声を良く聞いている。</p> <p>やはり福祉サービスであるから、なるべく広域で事業を行うべきではないか。</p> <p>あと認知症予防教室は小・中学生も対象としているが、これについてはキャラバンメイトだけでは限界があり、行政の協力・資料の提供が必要であるし、またどうすれば効果的に伝えることができるか考えるべきと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>健康体操教室だが、会場の確保に大変苦慮しているところである。駅南側については、児童館ワンダーランドを検討したが、もともと利用している児童の利用時間帯と健康体操教室の実施時間が重なるため断念した経緯がある。現在市では、駅南側に小学校建設を計画しておりその中に吉川小学校と同様の高齢者が利用できるスペースを要望している。将来的にはそのスペースを活用していきたいと考えている。</p> <p>認知症予防教室については、まず小・中学生に認知症が病気であることを知ってもらうことが重要であると考えている。埼玉県で資料の整備がされているようなので、その資料を活用しながらキャラバンメイトの方と協力して事業を進めていきたい。</p>
<p>峯尾委員</p>	<p>健康体操教室についてだが、他市では毎週金曜日に学校の体育館を活用しているところがある。小・中学校の体育館を使用することは検討する価値があるのではないか。</p> <p>認知症予防教室については、神奈川県は追跡調査を行う段階までできている。（吉川市でも）キャラバンメイトの方の人数だけでなく、その方たちの質の向上も目指していくべきではないか。</p>
<p>中村会長</p>	<p>ほかにご意見はないか。</p>
<p>峯尾委員</p>	<p>居宅サービスの介護予防訪問リハビリテーションの利用件数が、非常に多いがなにか理由があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>デイケアの日数が不足している方で利用されている実績が出ています。あと一日を通して外出するのが困難な方の利用希望がケアマネージャーを通じて寄せられている。</p>
<p>峯尾委員</p>	<p>ということであれば、特定の要支援者の方は日常生活のサポート</p>

	<p>よりも健康志向が強いのではないかと考えられる。介護予防ということだけではなく、要支援者の方が参加できる体操教室のような事業を行ってもよいのではないか。</p>
事務局	<p>市としては特定高齢者の方の事業を行い、その後一般高齢者の方を対象に体操教室を展開しているところなので、より細かい部分については分析も合わせ今後研究をしていきたい。</p>
3.その他	<p>(事務局説明) 「夜間対応型訪問介護事業について」</p>
中村会長	<p>(事務局説明より)この事業を行っている施設の常勤職員が2名とのことだが、常時待機をしているのか。</p>
事務局	<p>定期訪問を行う職員がいるのと、必要に応じ自宅にいる職員を呼び出すことで常時対応が可能になっている。 今のところ市の計画が先行している形だが、ニーズはあると考えているので、今後周知を徹底していきたい。</p>
司会	<p>閉 会</p>

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成22年7月28日

署名委員 足立 有庸

署名委員 矢野 義光